

支援報告

和泉市に到着後、和泉市担当者の方より台風21号による和泉市での被害状況や初期対応、災害廃棄物の収集場所、収集方法等の説明を受け、収集場所へ向かいました。

収集場所に向かう中、屋根がブルーシートで覆われた家屋や災害廃棄物が山積みになっている景色を見て、台風による被害の大きさを目の当たりにしました。

私たち環境事業所は、和泉市の自治会施設である伯太会館と春木町会館において、市民の方が排出された災害廃棄物の収集運搬を行いました。和泉市では、各自治会が市に協力する旨の申し出をさせていただいたことにより、各自治会施設が災害廃棄物の市民排出場所の拠点となっていました。いつでも誰でもごみを排出できる状況であるため、災害廃棄物が排出されていることに便乗して出されたごみ（建築廃材、廃家電、粗大ごみ・生ごみ等）が後を絶たず、あらゆるごみが積み上がっていました。排出された災害廃棄物の分別は、ごみ収集車に積み込むときに行われており、可燃物や不燃物、倒木、家電リサイクル対象品目（冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ）に分けて収集されていました。

我々は可燃性の粗大ごみを収集運搬するよう依頼を受け、和泉市職員の方々と共に、様々な種類のごみが混ざって排出されている中から、可燃性の粗大ごみを分別し収集しました。また、台風により折れた草木等は枝と枝が絡み合い積み込むのに苦労しました。その中でも、細かい草木などをまとめて袋に入れて排出していただいている事例もあり、台風が過ぎた後の市民の皆様による片づけの苦労は計り知れません。

積み込んだ後は、和泉市担当者の方と、和泉市と災害応援協定を締結している大栄環境株式会社内にある、和泉市災害廃棄物搬入先まで運搬しました。

搬入先までの間に和泉市担当者の方に和泉市のごみ収集について、「和泉市のごみ収集はすべて民間業者に委託しているため、災害廃棄物の収集は家庭から出る通常のごみ収集が終わった後にしか行うことができない。しかし、搬入先の災害廃棄物の受入時間が16時までのため、1日1回の搬入が限界である。」と説明していただきました。また、「ごみ収集をすべて民間業者へ委託しているため、災害廃棄物を収集するために必要なごみ収集車を1台も所有しておらず、効率の良い災害対応ができなかった。改めて直営収集の必要性を痛感した。」と言われていました。

災害はいつ起こるか分かりませんが、災害発生後の初期対応の重要性を改めて認識させられました。和泉市で支援活動させていただいた貴重な経験を活かし、交野市の災害対応に役立てたいと思います。

交野市環境部環境事業課

和泉市災害廃棄物収集運搬支援隊 一同